

海外における日本語の普及(1)

●国際交流基金(JF)による日本語普及事業

日本と各国の国際交流の基礎となる人材を拡充すべく、海外における日本語普及の促進に努めている。 *日本語事業費 平成23年度予算額 約51億円。

★海外における日本語普及のための基盤・環境の整備

1. 「JF日本語教育スタンダード」の考え方にもとづく日本語教育の普及
日本理解の要素とコミュニケーション能力向上をより重視した日本語の学び方、教え方、評価のツールである「JF日本語教育スタンダード」の考え方を柱に、日本語をより学びやすく、より教えやすくする環境を構築、整備。

2. JF日本語講座の拡充

当基金の海外拠点等において実施する日本語講座を拡充。

3. 日本語能力試験の実施拡大

平成22年度は海外57の国・地域において、日本語能力試験を実施。

◆海外における日本語能力試験受験者数

H22年度: 約48万人(国内を含めると、約61万人)(海外57の国・地域、186都市)

4. インターネット・映像を使った教育ツール

「日本語でケアナビ」看護・介護のための和・英・インドネシア語web辞書の作成。
「アニメ・マンガの日本語」アニメ・マンガ特有のキャラクターや日本語を学ぶwebサイト
『エリンが挑戦！にほんごできます。』映像教材の国内外でのTV放映、Eラーニング。



★国・地域別事情に応じた日本語普及

5. 日本語教育専門家派遣事業

各国の教育機関、基金海外拠点等に日本語教育の専門家等を派遣している。

H21年度: 102ポスト(39カ国) H22年度: 101ポスト(39カ国)

6. 世界各地における日本語教育支援プロジェクト

◆「JFにほんごネットワーク(通称:さくらネットワーク)」

当基金の海外拠点および各地の中核的な日本語教育機関とのネットワーク。

JFにほんごネットワーク 43の国・地域 116中核拠点(H24年1月現在)

◆日本語教育機関支援・日本語教育プロジェクト支援

海外の日本語教育機関(大学、日本語教師会、民間団体等)に助成を実施。

日本語普及活動助成

H22年度: 63カ国150件



7. 海外の教師や学習者を対象とした研修

年間約1千人を対象とした研修を実施。現在までの研修参加者数は、のべ1万6千人。

◆日本語教師研修参加者数 H22年度: 425名(56カ国)

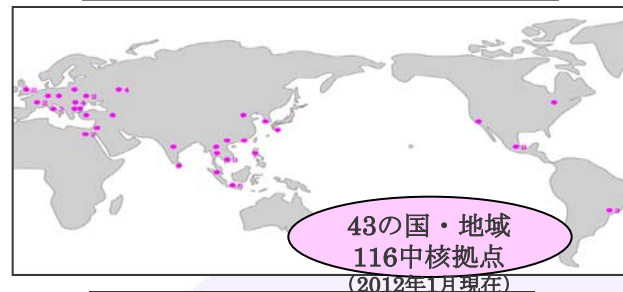
◆日本語研修参加者数 H22年度: 657名(96カ国)

★政府方針・外交政策に対応した事業への積極的取り組み

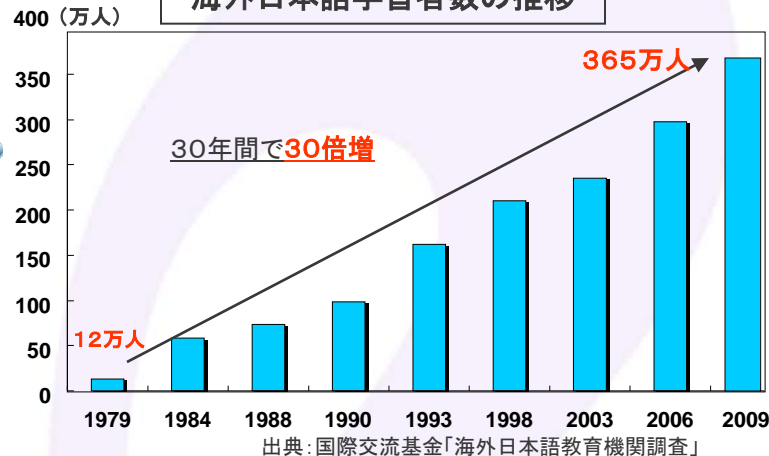
8. EPA日本語研修事業

経済連携協定(EPA)にもとづく看護師・介護福祉士候補者への日本語教育を、インドネシア、フィリピンにおいて実施。

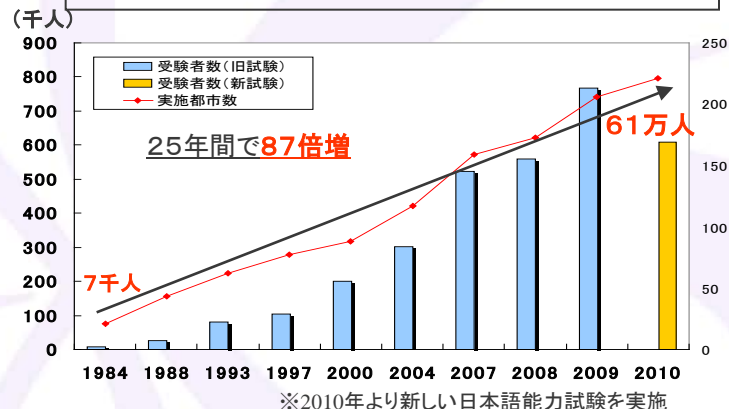
JFにほんごネットワーク

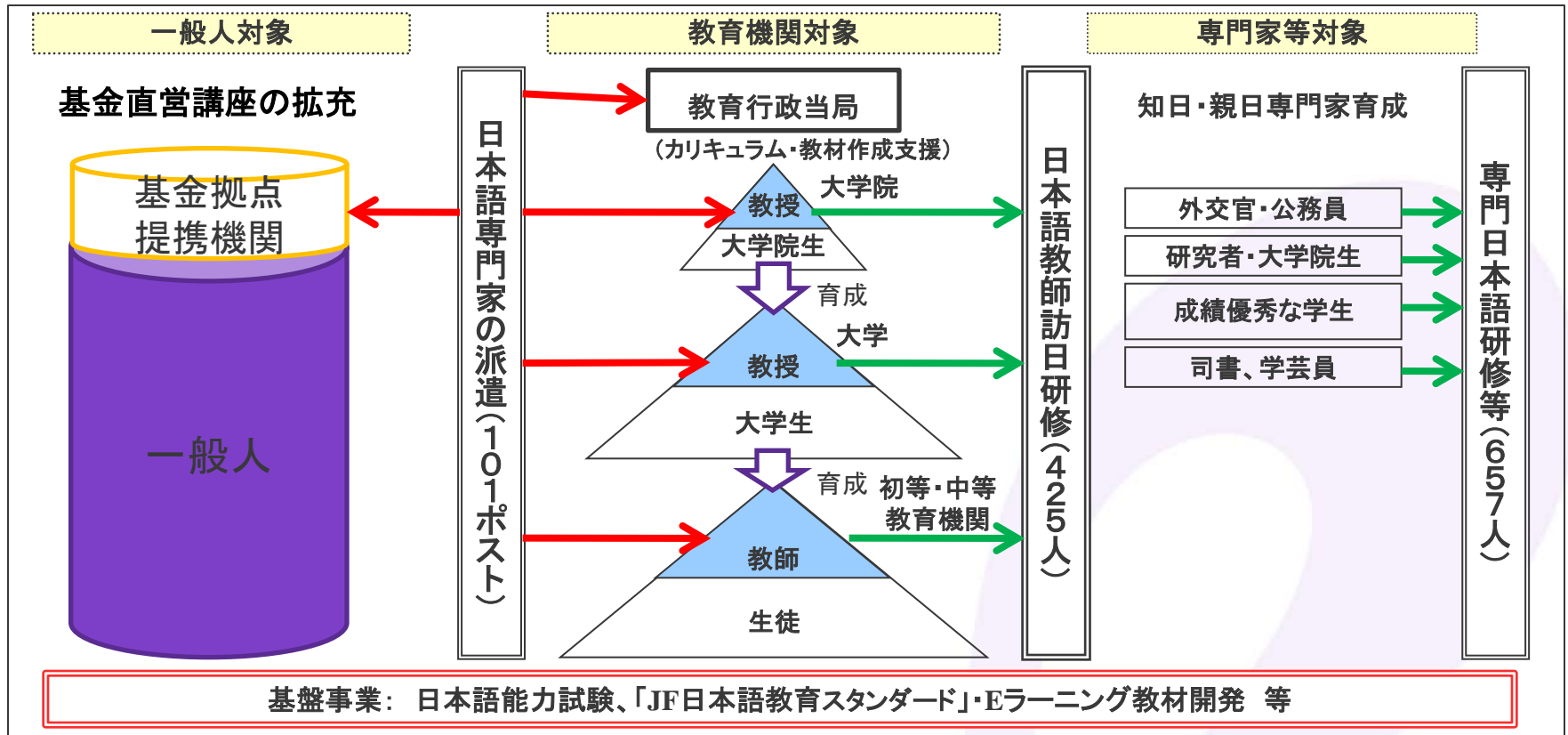


海外日本語学習者数の推移



日本語能力試験受験者数、実施都市数の推移





注:人数は、平成22年度実績

一般人・初学者対象の日本語普及

直営日本語講座の拡充

「JF日本語教育スタンダード」準拠モデル講座を拡充

Eラーニング教材の開発

IT技術の発展・普及に応じて、効果的・効率的に日本語普及事業を展開

初等・中等レベルへの日本語導入の推進

各国教育省に協力して日本語普及を推進

初等中等教育は日本政府が直接支援することが難しく、民間企業が代替することも困難な分野

- カリキュラム開発支援
- 教科書・副教材作成
- 現地日本語教師の育成 等

大学における日本語の普及

海外の大学日本語専攻学科開設を支援

日本語教育の中心となる機関をつくと同時に、日本語教師の現地再生産が可能

- 現地研修会・訪日研修
- 学生の訪日研修機会提供
- 日本語専門家の派遣

国際交流基金事業の主要なツール(事業の3本柱)



国際交流基金が開発した、日本語を楽しく学べるEラーニングWEBサイト「アニメ・マンガの日本語」

<http://anime-manga.jp>

チリ建国200周年記念邦楽公演「松田美緒+ヤヒロモヒロ+ワーゴ・ファトルーソドリオ "TRANS-CRIOLLA"」(2010年8月) サンティアゴ会場の客席



- ・美術・音楽・演劇・舞踊・映像メディア・出版、生活文化・スポーツ等幅広い分野における文化交流・日本文化芸術紹介事業
- ・アーティスト・文化人・専門家等の派遣・招へい
- ・海外の文化振興のための国際文化協力事業 等

- ・日本語教師の海外派遣
- ・各種教育機関等への助成
- ・海外日本語直営講座運営
- ・日本語教材開発の開発・制作
- ・海外の日本語教師や外交官等を対象とした訪日研修の実施
- ・EPAに関連した日本語研修
- ・日本語教育情報資料提供 等

海外での日本語普及

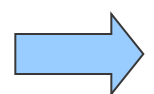


国際交流基金・韓国国際交流財団・中華全国青年連合会共催日韓次世代リーダーフォーラム 2010「Vision 2030 for Northeast Asia- 市民社会 - 低炭素経済発展 - 安全保障」(2010年7-8月 於 沖縄、上海・寧波、済州)に参加する3か国18名の各界若手リーダー候補者たち

文化芸術交流

日本研究・知的交流

- ・世界の日本研究機関の基盤整備・ネットワーク強化(海外日本研究者へのフェローシップ供与、高等教育・研究機関への助成)
- ・日本研究情報提供
- ・世界・地域共通課題解決や異文化間対話促進のためのセミナー、シンポジウム等知的共同作業の実施
- ・人材育成支援 地域研究支援 等



外交政策を踏まえ、国・地域別の長期的な観点から、ツールを組み合わせ、総合的・戦略的に文化交流を実施